

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第256号 平成6年4月



平成5年度第2回定時総会開催

目 次

	頁		頁
1. 平成5年度第2回定時総会開催		6. 文芸随筆その他諸事百般	
広報部 … 2		雑記『特別会計 生命保険事務手数料』	
2. 理事会報告	広報部 … 6	山田正哉 … 15	
3. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 11	7. 新人紹介	森 皎祐 … 16
4. 診療報酬改定のポイント	広報部 … 13	8. 絵画部よりのお知らせ ……	17
5. 「休日夜間診療事業」のアンケート結果		9. お知らせ ……	17
広報部 … 14		10. あとがき	瀬戸岡俊一郎 … 18

平成5年度 第2回定時総会開催

—— 新役員・委員を選任し松原会長を再選 ——

平成5年度第2回定時総会が3月26日土曜日午後2時より西多摩医師会館にて開催され、定款施行細則により各地区から選出された次期新役員及び医道審議会委員を選任し、松原現会長が引き続き会長に就任した。また平成6年度事業計画、収支予算も原案通り承認された。次年度予算では休日診療、死体検案、在宅難病訪問等受託事業費が一般会計に組み込まれ大型予算となり、事務機能効率化を図るためのコンピューター導入等が盛り込まれた。

平成5年度第2回定時総会次第

司会 真鍋総務部長

- | | | |
|------------------|--------------------------------------|----------|
| 1. 開会宣言 | 総会議事規則第3条により会長が宣言す。 | (松原会長) |
| 1. 議長指名 | 同3条第2項により会長が米山秀雄会員を指名す。 | (松原会長) |
| 1. 議長登壇 | | |
| 1. 資格審査 | 会員総数361名(過半数181名)出席27名、委任状210名にて成立す。 | (議長) |
| 1. 開会挨拶 | | (松原会長) |
| 1. 議案 | | |
| I. 議事録署名人指名 | | (議長) |
| 大嶽栄二、木野村幸彦会員を指名。 | | |
| II. 審議事項 | | |
| 第1号議案 | 平成6年度事業計画案につき承認を求める件
——原案通り承認—— | (各部長説明) |
| 第2号議案 | 平成6年度収支予算案につき承認を求める件
——原案通り承認—— | (高水経理部長) |
| 第3号議案 | 本会役、委員の選任
——別記名簿の通り承認—— | (議長) |
| | ——以上で議事終了—— | |
| 1. 閉会宣言 | 総会議事規則第3条により会長が宣言す。 | (松原会長) |
| 1. 閉会挨拶 | | (宮川副会長) |
| 1. 議長降壇 | | 以上 |



米山議長



司会 真鍋総務部長

新役・委員選任者名簿

(五十音順 敬称略)

会長理事	松原 貞一 (羽村地区)	監事	内山 大 (福生地区)
副会長理事	足立 卓三 (青梅地区)	〃	後藤 伸 (青梅地区)
〃	宮川 栄次 (福生地区)		
理事	石田 信彦 (青梅地区)	医道審議会	
〃	大堀 洋一 (青梅地区)	委員長	堤 次雄 (羽村地区)
〃	奥野 仁 (秋川地区)	同副委員長	星 和夫 (青梅地区)
〃	唐橋 善雄 (青梅地区)	同委員	桂木 真 (五日市地区)
〃	小机 敏昭 (五日市地区)	〃	木野村 幸彦 (福生地区)
〃	進藤 淳 (日の出地区)	〃	小林 康光 (瑞穂地区)
〃	鈴木 晴夫 (病院)	〃	土田 守一 (青梅地区)
〃	高水 松夫 (瑞穂地区)	〃	平林 信隆 (秋川地区)
〃	玉木 一弘 (福生地区)		
〃	樋口 昭夫 (秋川地区)		
〃	真鍋 勉 (羽村地区)		

以上



再選あいさつを行う 松原会長



総会風景

平成6年度 事業計画

1. 医学の振興及び医師、医療関係者の生涯教育に関する事業

【学術部】

- I. 学術講演会は、会員の希望する内容を選んで施行する。
日医生涯教育講座の一環として施行し、多数の会員が生涯教育申告書を提出できるように務める。
- II. 地域一般住民への健康講座も、年1. 2回開催する。
- III. 一般教養講座も年1回程度開催する。
- IV. 病診連携を密にするために、各公立病院との症例検討会、研究会等に積極的に協力する。

2. 包括的地域保健医療に関する事業

【地域医療部】

(公衆衛生関係)

- I. 東京都医師会、行政と連絡を密にして公衆衛生事業活動にあたる。
 - (1) 西多摩地域医療保健衛生協議会の開催
 - (2) 各種予防接種に協力
 - (3) 老人保健法事業に協力
 - (4) 1才6ヶ月児健診事業に協力
 - (5) 訪問看護婦講習会を実施する。
 - (6) 保健・福祉医療の連携を強化し、地域医療に取り組む。

II. 保健所関連事業

- (1) 健康増進指導事業への協力
- (2) 在宅難病患者訪問診療事業への実施(年間16人)
- (3) 保健所各種委員会への出席
保健所運営協議会、在宅難病患者訪問指導事業連絡会、保健所保健事業連絡協議会、地域精神保健連絡協議会、結核診査協議会、地区母子保健対策協議会、保健所胃癌健診運営協議会、保健所保健福祉サービス調整推進会議、大気汚染障害者認定審査会
- (4) 健診事業に協力(3ヶ月児、3才児)
- (5) 感染症定点観測調査に協力

III. 研修調査

予防接種の個別化に対応出来るよう研修会等を行う。

(学校医関係)

- I. 西多摩学校保健連絡協議会で一般の演題の他講演会を行いより一層の活性化を図る。
- II. 各市町村の学校保健会(学校保健委員会)の設置を一層努力する。

(産業医関係)

- I. 西多摩地区産業保健連絡協議会を通して産業医活動の促進と産業保健に関する情報の交換をする。

- II. 三者協による会合を持つ。
- III. 産業医活動の中で講演会を持つ。

3. 医療保障制度に関する事業

【保 険 部】

- I. 保険指導整備委員会を定期的で開催し、本会員よりの診療報酬明細書の点検、指導整備を実施し、速やかに各基金に提出すること。
- II. 診療報酬改定時、更に保険医療上種々の疑義の生ずる場合、都医保険担当理事や、技官による講習会や協議会を開催する。又レセプト請求上の情報を早期に収集し会員に伝達、円滑な請求業務を推進する。

4. その他本会の目的達成に必要な事業

【総 務 部】

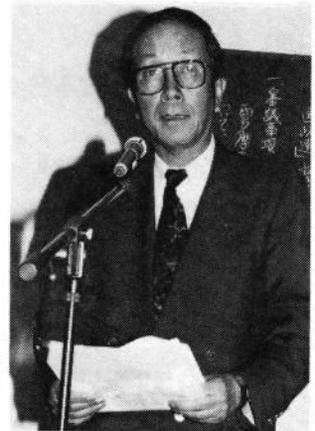
- I. 定時総会開催及び必要に応じて臨時総会を開催する。
- II. 理事会を開催する。
- III. 西多摩医療懇談会、西多摩医療推進協議会を開催する。
- IV. 新年会等開催し会員相互の親睦を図る。
- V. 会務執行状況に関する伝達及び連絡を行う。
- VI. 会長の運営方針に沿った各部事業の整合性を図る。
- VII. 医師会館の管理、運営及び職員人事に関する事務を行う。
- VIII. 事務機能の効率化のため電算化を図る。

【広 報 部】

- I. 西多摩医師会報の定期発行（月1回）を編集委員全員で編集に当る。
- II. 三多摩地区医師会広報担当理事連絡会、三多摩地区医師会広報研究会、調査担当理事連絡会などに出席し、他地区医師会の広報調査部門との連携、情報の収集伝達を行う。
- III. 西多摩地区住民や行政に関する情報の収集を行う。
- IV. 医師会会員対象の調査活動。

【経 理 部】

- I. 本会運営及び各部事業遂行に支障のないように留意し、適正な会計処理を行う。
会費等の資金の受託を明らかにし、経理事務の万全を図る。
- II. 予算執行状況ならびに、予算管理に努め効率的資金の運用をはかる。
- III. 次年度予算の編成に際しては、各部の実績を踏まえ適切な配分を行う。



議案説明を行う
宮川副会長



予算案説明を行う
高水理事

(広報部)

理事会報告

★ Information

3月定例理事会

平成6年3月8日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

- (I) 東京都医師会第214回(臨時)代議員会報告 (松原会長)
2月24日 日医会館にて
- (II) 役員・医道審議会委員地区選出届締切状況について (真鍋理事)
総会記事参照
- (III) 各部報告 (各部長)
(総務) 経理事務の電算化の為、機種を選定を行う。
- (IV) 各地区会よりの報告 (各地区理事)
各地区より新理事、監事、医道審委員候補の選出者と経過報告を行った。

【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について — 承認 — (真鍋理事)
- (II) 平成6年度小・中学校・保育園医推薦について (真鍋理事)
【別掲資料-1】の会員を推薦する。
- (III) 平成6・7年度東京都非常勤産業医推薦について (伊藤理事)
【別掲資料-2】の会員を推薦する。

【3】 協議事項

- (I) 平成6年度事業計画案につき承認を求める件 (各部長)
各部より事業計画の説明を行い、協議承認す。
- (II) 平成6年度収支予算案につき承認を求める件 (高水経理部長)
受託事業(休日診療・死体検案・難病訪問)について、一般会計組み入れを行う。

【別掲資料－1】

羽村市立			
学 校 名	内 科 医	眼 科 医	耳 鼻 科 医
羽村東小学校	東 吉 男	真 鍋 勉	山 田 登
羽村西小学校	川 口 卓 治	真 鍋 勉	山 田 登
富士見小学校	堤 次 雄	酒 井 義 生	山 田 登
栄 小 学 校	佐 藤 タミエ	真 鍋 勉	山 田 登
松 林 小 学 校	塩 沢 三 朗	酒 井 義 生	山 田 登
小 作 台 小 学 校	松 田 三 樹 雄	真 鍋 勉	込 田 茂 夫
武 蔵 野 小 学 校	滝 浦 復 平	酒 井 義 生	山 田 登
羽村第一中学校	山 川 淳 二	真 鍋 勉	込 田 茂 夫
羽村第二中学校	宮 地 誠	酒 井 義 生	込 田 茂 夫
羽村第三中学校	村 山 正 昭	酒 井 義 生	込 田 茂 夫

〈羽村市〉		
保 育 園 名	新保育園医氏名	備考
東 保 育 園	塩 沢 三 朗	
西 保 育 園	関 谷 進 一 郎	
しらうめ保育園	東 吉 男	
さくら保育園	山 川 淳 二	新

〈五日市町〉		
保 育 園 名	新保育園医氏名	備考
すぎの子保育園	黒 田 雅 信	
誠 和 保 育 園	鈴 木 修	
増 戸 保 育 園	横 田 博	
五日市保育園	杉 本 一	
五日市わかば保育園	栗 原 琢 磨	

〈福生市〉		
保 育 園 名	新保育園医氏名	備考
福生市立すみれ保育園	米 谷 豊 光	
福生市立つくし保育園	玉 木 一 弘	

【別掲資料－2】

〔事 業 所 名〕	氏 名	新規更新
〔主税局青梅都税事務所〕 〔労働経済局西多摩経済事務所〕 〔福祉局西多摩福祉事務所〕 〔出納長室青梅出納事務所〕 〔都市計画局、多摩西部建築指導事務所分室〕	吉 野 住 雄	更
〔労働経済局畜産試験場〕	野 本 正 嗣	更
〔建設局西多摩建設事務所〕	片 平 潤 一	更
〔福祉局誠明学園〕	大 河 原 周	更
〔福祉局日の出福祉園〕	宮 川 栄 次	更
〔小作浄水場〕	松 田 三 樹 雄	更
〔水源管理事務所〕	森 本 晉	更
〔小内貯水池管理事務所〕	川 辺 隆 道	更

【1】 報告事項

(I) 都医地区医師会長協議会報告 (3.18)

(松原会長)

1. 都医からの伝達事項

(1) 平成6年度の医師会関連委託事業の委託単価等について

予防接種	6, 9 健診	妊婦健診	医療救護合同訓練参加費
DPT 3,883円	9月迄 5,760円	1回 8,320円	医師 18,800円
風疹 2,606円	10～3月 6,160円	2回 5,590円	
麻疹 7,765円	事務費 62円	事務費 62円	

(2) ビデオ「エイズ診療をすすめるために～医療の現場から～」の配布依頼について

(3) 在宅難病訪問診療における傷害保険について

訪問診療1件当たり244,603円の報酬が出ており委託事業に総合保険を各医師会で加入してほしい。

(4) 学校医等の任用取扱(更新)の変更について

★ 任用期間……1年とし、毎年発令する。

〔東京都教育委員会学校医学校歯科医及び学校薬剤師設置要綱〕

第6条 学校医等の定年年齢は65歳とする。

学校医等の任期は1年とする。

東京都教育委員会は特別の必要があると認める場合には学校医等を定年年齢を越えて再任し又は定年年齢を越える者を学校医等に任用し及びその学校医等を再任することができる。

(5) 柔道整復師等の施術の範囲について

次回回答予定

(6) 医療施設等施設整備事業調査について

スプリンクラー施設整備事業、院内感染対策施設整備事業、看護婦勤務環境改善施設整備事業、看護婦宿舍施設整備事業、等が実施されている。

(7) 東京都におけるリハビリテーション医療充実のための方策について

パンフレットが作成された。

(II) 三多摩ブロック医師会代議員連絡会報告

(松原会長)

懇親と意見交換を行った。

(III) 都医師会学校医研修会報告 (3.15)

(宮川副会長)

児童の「食」生活、小中生の肥満、登校拒否児、小児成人病予防についての研究発表があった。

(IV) 地区医師会生涯教育担当理事連絡会報告

(大堀理事)

生涯教育申告書提出の奨励と次年度よりの単位変更について(前号既報)。

(V) 各部報告

(各部長)

(広報) 名簿もれが若干あり、お詫び申し上げるとともに、追加文を配布する。

(VI) 各地区会よりの報告

(各地区理事)

(羽村) 3月29日に幹事会予定

(日の出・五日市) 3月18日に合同医会を行った。

(VII) その他

(宮川副会長)

3月25日午後西多摩地区病院連絡協議会を大聖病院内で行い、星青梅総合院長の「診療報酬改定と将来の医療体制」についての講演を得た。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 — (真鍋理事)

(II) 平成6年度小・中学校・保育園医推薦について

(高水理事)

下記会員を推薦する。

〈日の出町〉		
学 校 名	新学校医氏名	備考
大久野小学校	川崎 健一郎	
平井中学校	湯川 文朗	
本宿小学校	篠原 秀隆	
大久野中学校	蓼沼 翼	
平井中学校	神尾 重則	新

〈日の出町〉		
保 育 園 名	新保育園医氏名	備考
大正保育園	川崎 健一郎	
大久野保育園	湯川 文朗	
さくらぎ保育園	川崎 健一郎	
宝光保育園	神尾 重則	新

〈福生市〉		
保 育 園 名	新保育園医氏名	備考
福生市立福生保育園	星野 稔	
福生市立熊川保育園	岡村 秀人	

(Ⅲ) 保健所各種協議会・連絡会委員推薦について

(真鍋理事)

下記会員を推薦する。

〈五日市保健所〉

1. 地域精神保健連絡協議会

進 藤 淳 樋 口 昭 夫 成 田 洋 夫 秋 山 静 夫
内 田 萬 次

2. 五日市保健所保健福祉サービス調整推進会議

桂 木 真

3. 秋川保健相談所保健福祉サービス調整推進会議

樋 口 昭 夫

4. 地区母子保健対策協議会

(産科) 明田川 修 生 (小児科) 横 田 博

5. 保健所結核審査協議会

川 崎 健一郎

〈青梅保健所〉

1. 地域精神保健連絡協議会

江 本 虎 雄 岡 田 萬之介 川 辺 隆 道 塚 本 光 夫
佐々木 章 山 本 修 (青梅市立総合病院)

2. 保健所保健福祉サービス調整推進会議

大 堀 洋 一

3. 在宅難病患者訪問指導事業連絡会

市 原 靖 石 田 信 彦 大 堀 洋 一 野 本 正 嗣

4. 地区母子保健対策協議会

高 野 和 章 (青梅市立総合病院) 川 辺 隆 道
林 良 樹 (青梅市立総合病院)

5. 健康づくりフォローアップ事業

5月(高脂血症) 野 本 正 嗣
6月(骨粗鬆症) 卞 在 正
7月(糖 尿 病) 田 中 穂 積
8月(高脂血症) 野 本 正 嗣
9月(高脂血症) 野 本 正 嗣
1月(骨粗鬆症) 卞 在 正
2月(高脂血症) 野 本 正 嗣

【3】 協議事項

(I) 平成5年度第2回定時総会全般について (真鍋理事)

総会次第打ち合せ及び準備状況報告。

(II) 部編成見直しについて (")

病院担当理事病院委員会(案)を新設し、病院及び勤務医についての事業を行う予定とする。

<h2 style="text-align: center;">会員通知</h2>

- 学術講演会 (3/11)
- 会員名簿作成について
- 診療報酬点数の選択に関する申出の取扱いについて
- 平成5年度東京都リハビリ医師研修会の実施について
- 西多摩医師会80周年記念誌
- 東京都の国民健康保険・保険者一覧表
- " 療養の給付一覧表
- 国民健康保険被保険者証の更新について
- 平成5年度生涯教育制度終了に伴う生涯教育申告書及び報告書の提出について
- 平成6年度都医会主催日本医師会生涯教育講座の開催について
- 平成5年度学校医研修会(地区医師会研究発表会)開催並びに参加者の募集について
- 第25回学校保健、学校医大会の開催について
- 日本医師会認定健康スポーツ医称号(認定)の登録申請並びに移行措置の取扱いについて
- 第24回日本医学会総会登録申込案内
- 東京都特殊疾病(難病)患者診断手引
- 特殊疾病(難病)患者の治療及び生活指導の手引
- 薬価・診療点数表の斡旋について
- 点数改正講習会開催案内
- 学術講演会 (3/25)
- 平成5年度第2回西多摩医師会総会開催について
- 西多摩医師政治連盟臨時総会開催について

医師会の動き

医療機関数	175	病院	28	会議
		診療所	147	3月2日 総務会
会員数	364	A会員	162	3日 経理部と職員との懇談会
		B会員	202	4日 監事との懇談会

《 診療報酬改定のポイント 》

- ・甲乙を一本化し診療報酬を4月、10月に分け合計4.8%、実質2.7%引き上げ（薬価引き下げを換算して）

初診料

- ・初診料甲乙一本化引き上げ、一般・老人が同一点数化、乳幼児、乳幼児育児栄養指導、時間外、休日、深夜加算の引き上げ、診療所に紹介患者初診料加算新設等

再診料

- ・再診料甲乙一本化引き上げ、一般・老人が同一点数化、乳幼児、幼児、時間外、休日、深夜加算の引き上げ、外来管理加算は据え置き

指導管理等

- ・情報提供料が(A) (B) (C)に再編され、診療所から入院を前提としない病院外来への紹介や病院から病院への紹介も算定可能
- ・特定疾患療養指導料の引き上げと対象疾患拡大（虚血性心疾患、脂質代謝障害）
- ・てんかん指導料、難病外来指導管理料、高度難聴指導管理料、在宅患者入院共同指導料の新設
- ・ウイルス疾患指導管理料の引き上げ、AIDSには月1回算定可
- ・開放型病院共同指導料、在宅患者入院共同指導料に退院時加算を新設し在宅を促進
- ・小児特定疾患カウンセリング料、小児科療養指導料、皮膚科特定疾患指導管理料（類点疱疹追加）
- ・心臓ペースメーカー指導管理料引き上げ
- ・在宅療養指導料の知事への届け出不用、非常勤保健婦、看護婦の指導も可となる

在宅医療

- ・在宅自己腹膜灌流指導管理料を除きすべての点数引き上げ
- ・往診、訪問診療に際する死亡診断加算の新設
- ・24時間常時対応に係る在宅時医学管理料の新設
- ・末期悪性腫瘍患者に対する在宅末期医療総合診療料の新設
- ・在宅医療対象患者を「通院が困難なもの」に拡大、算定回数を週3回までに緩和

検査料

- ・判断料引き上げ、実施料引き下げまるめ強化の傾向は従来通り
- ・血小板は末梢血一般に包括化
- ・一部生体検査に新生児、乳幼児加算を新設

画像診断

- ・新生児、乳幼児加算を新設
- ・他機関実施のCT、MRI等を初診時に診断した場合コンピューター断層診断料を新設

投薬

- ・内服、屯服を一本化し引き上げ

- ・レセプトの薬名不記載範囲が205円以下に引き上げ
- ・処方箋料は10種以下21点引き下げ、9種以下2点引き上げ
- ・厚生大臣指定疾患以外の長期投与は海外渡航、年末、年始、連休に30日分迄に限定、レセプト、処方箋にその旨記載要
- ・特定薬局への誘導禁止

注 射

- ・注射料全般に引き上げ
- ・点滴は75点から93点に引き上げ回路加算を包括、500cc未満45点新設
- ・外来ビタミン剤を10月より制限

処 置

- ・乙の浣腸、注腸、吸入、等は基本診療料に包括
- ・創傷処置、皮膚科軟膏処置が同一点数化

新点数のポイントを拾いましたが、その他にも変更点が多々ありますので各自お確かめ下さい。

(広報部)

「休日夜間診療事業」のアンケート結果について

平成6年2月16日付けにて行った「休日夜間診療事業」の初療医療機関再募集に伴うアンケート結果について報告します。

アンケート発送総数 175 (対象：西医全医療機関)
回 答 数 116

参加する 26

現体制で参加する	22
年間3～4回程度なら参加する	2
状況によっては参加可能	2

参加しない 85

職任分離・ビル診・センター方式でない	6
看護職員等確保困難・医薬分業等	9
高齢・健康	6
入院のみ参加	2
委託料不足	1
診療科目(耳鼻科・眼科・皮膚科等)	18
理由の記載なし	43

上記の様な結果でした。現行の17医療機関よりはやや参加可能機関が増加しています。看護職員確保の援助やセンター方式の実施等により、さらに多くの参加が得られる可能性があります。ご協力有り難う御座いました。

(広報部)

文芸随筆その他諸事百般

雑記

特別会計「生命保険事務手数料」

山田正哉

医師会総会毎に特別会計の「生命保険団体契約事務手数料」の件が提出されるが、これがどうして出来たのかまたその経緯をごぞんじの先生方は殆んど居られないだろうと思う。

そもそもこの生命保険団体契約事務手数料なるものとは如何なるものなのか。

まず第一生命保険団体契約事務手数料に就いて説明すると、当時三多摩医師会事務員の給与が安いことがあって、昭和32年頃当時の北多摩医師会長故中島与十先生、南多摩医師会長宿谷喬徳先生と西多摩医師会山田正禮会長が協議して、第一生命保険会社と団体契約を締結すると、医師会が各契約者の保険料を毎月徴収事務を遂行することに依ってその全保険金額の3%を事務手数料として支払われることから、これを一時事務員の給与の補給金とすることで協議一致して出来たものだと亡き父から聞いたことがある。当時生命保険に加入する医師は余りなく昭和43年9月頃第一生命保険会社と契約していた西多摩医師会員は30名そこそこで、他は家族が加入し全体で56名にすぎなかった。また、保険金額を見ても100万から300万円位が大多数で1千万円を契約してる者は僅かに2名であって、その事務手数料は知れたものであったが、当時の事務員羽村源一氏の給料に組み込まれていた。

当初はこの事務手数料は事務員の給与補給金の形であったが、小泉新策氏が会長に就任してこの事務手数料に就いて、契約は医師会が主体で唯事務が保険金額の徴収事務を取扱ってるのみである故団体契約事務手数料を給与補給金として使用することは妥当でないとし、爾後手数料を積立てることとし医師会で保管金として残した。

一方朝日生命保険は、羽村源一氏が医師会と関係する以前より代理店として業務を実施

していた。昭和26年医師会事務所があった青梅市三枝医院が火災焼失して羽村源一氏宅離れに移転し昭和34年3月現在地に医師会事務所が移転するまで事務員として奉職してた関係で、各先生方が朝日生命保険と契約したため、その事務手数料は彼自身のものであった。原田広吉事務長が就任して、彼が不慮の事故死をするまでは医師会事務嘱託として勤務をし朝日生命保険業務を実行していたが、その後は医師会事務所がその事務業務を代行し、事務手数料は一応坂本保先生が預る形を取っていた。

第一生命保険の事務手数料を医師会の保管金として積立ててる点と、朝日生命保険の手数を坂本保先生が保管していて、保険事務関係を医師会事務所で行っている点から高水先生が会長に就任した時点でこの問題に関して相談を受け、今後これ等を医師会に寄附して頂き医師会々計に組み入れて今後の資金としてはどうかと話し合った。その結果昭和47年7月13日の臨時理事会に提案して説明し、昭和47年7月27日の臨時総会議題とする事の承認を得た。

唯朝日生命保険契約者は羽村源一氏個人の勧誘によるものなので、会を一応解散して頂き保管手数料の一部を羽村源一氏の霊前に何かを捧げ、会員には記念品を配布して残金を医師会に寄附して貰うことを坂本先生より説明して頂くことに決定した。

依って臨時総会に本件を提出し、会員に経緯を説明して承認を求めた結果全員賛成で可決され今日に至った次第である。

その際同時に関東医師製菓よりのレポート、これまでの学校医会の保管金もすべて医師会に寄附して頂き本会々計に組み入れることが承認可決された。

以上の様な経過で今日生命保険事務手数料が、特別会計として多額に蓄積され総会毎に報告されている次第である。

事務職員の給与補給金を目的として計画された事務手数料は、年々歳々第一生命保険に加入する者の増加に伴い、保険料も高額化した今日事務手数料も年額莫大なものとなり、年を追う毎にその積立額は増加して行く傾向にある。

この特別会計の一部を昨年西多摩医師会創立及び同好医会創立記念事業の資金として使用を試みようとした際に、これは契約者個々のものだと言う意見があったと聞くが、それ

は大きな間違いであって今から20数年前の医師会総会で寄附して今後は本会の会計に組み入れることが承認可決されてることを忘れないで欲しい。

この特別会計を現在の様な状態のままにして置くことは、高水先生が本会々計に組み入れて何時か有効な資金として使用することを念頭に置いて総会で承認可決を取ったことを生かして欲しいと思う。

今後21世紀に向って邁進する医師会の運営に携る若き先生方は、頭脳と手腕を発揮されて有効に利用されて花開く日の早やからんことを祈って筆を置く。

新人紹介

福生病院長就任の抱負

— 御挨拶にかえて —



福生病院長
森 皎 祐

この度24年間勤めた立川共済病院を定年退職し、福生病院へ赴任して参りました森 皎祐でございます。

私は立川病院時代、桧原村国保診療所の内田先生に知己をえ、20数年この村の健康管理のお手伝いをして来た関係で、西多摩には深い親近感を持っておりました。また立川病院の私の患者の二～三割は西多摩方面の方で、その方達から先生方のお名前をよく聞いていたので、始めてのお付合いではないような心安さを感じております。

さて、冒頭ご紹介したように、福生での勤めは定年退職後なので、世に言う「第二の人生」ということになるのですが、私自身この表現が正確さを欠くことを主張し続けて来ましたが、すなわち、どう転んでも人に二度の人生がある筈はなく、それを言うなら「人

生第二幕」と呼ぶべきだというのが私の持論であります。そういう訳で、天が与えてくれたこの第二幕を前に劣らぬ見応えのある舞台にしたいと、健気な覚悟のもとに新任務に取り組み始めました。

けれど、御承知の通り福生病院の経営は予想以上に厳しい状況に立たされております。そこで、地域自治体への経営移管を一刻も早く実現すべく、就任以来数ヶ月、現場代表として、各方面へ可能な限りの働きかけを行っております。都と各自治体の間には色々と思惑もあるようですが、最近トップ・レベルの間にも漸く具体的な動きが見られ始めています。今後1～2年私自身の業務の大きな部分がこの問題に割かれることになるでしょう。

一方、経営難とはいえ、当院は地元患者の皆さんに絶大な信頼を頂いており、それに応えるため、移管の目途が立つまでの間も従来通りないし、それ以上に高レベルの医療を提供して行かねばと考えております。具体的には、特殊外来（漢方、ペインクリニック等）の新設、健診部分の整備拡大、透析センターの充実、中検部門などのコンピューターシステム化、その他各科スタッフの充実強化などあります。

私は昭和5年生れの戦中派で、勤労働員など厳しい生活環境に耐えて来たせい、体丈は丈夫そのものです。また、近年は心の健康

も考え、土いじり(陶芸)にも時間を割くようにしています。そのような中で、最近私の心を捉えた荘子の言葉があります。「得^おらず、迎えず」というものです。これは鏡のような心の状態を表した言葉で、過ぎ行く物に未練を抱いて追いかけたり、未だ来ぬことにあせりや不安を覚えたりせず、現在自れの前にあること丈に精神を集中せよというようなことだと思えます。我人生の第二幕では、少しでもその様な心境に近づき度いと願っております。

末筆ながら、医師会の先生方、今後公私共に宜敷く御指導の程お願い申し上げます。

絵画部よりのお知らせ

今年の絵画部展覧会の予定が下記の通り決定しましたので、多くの先生方の作品をお待ちしております。

- 5月24日(火)～5月29日(日)
- 福生市プチギャラリー(福生駅内)
- 大きさ、点数制限なし

詳細は 稲垣 又は 内山 まで

お 知 ら せ

5月(4月診療分)の

保険請求書類提出日

5月9日(月)

—— 正午迄です。 ——

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 4月は13日(水)
5月は11日(水)の予定です。
 - ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無 料(但し相談を超える場合は別途)
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

あとがき

何もお手伝いできないまま編集委員会に席を置いて2年過ぎてしまいました。

原稿を書いていただく先生方も採用する側もそれぞれに固有の考え方が存在するわけで、その中で会報という一つの形に持っていく事の難しさに接する事ができて大変勉強になりました。2年間、ご指導頂いた各編集委員の先生方には大変お世話になりました。

瀬戸岡俊一郎



社団法人 西多摩医師会

平成6年4月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 明田川修生

天野了一 石井好明 片平潤一 小机敏昭 込田茂夫

瀬戸岡俊一郎 高水松夫 玉木一弘 山川淳二

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

夢にあふれた素敵な星の王子様トフィーラーと犬のルーラーが、たましん総合口座のキャラクターとして人気上昇中。総合口座通帳はじめ、キャッシュカード、2wayカード、定期積金100通帳などで大活躍です。トフィーラーと一緒に夢のある暮らしをはじめましょう。

TOFFEE ROO
© 1991 TOFFEE ROO CO., LTD.
 Adrift in a sea of stars,
 I could float forever...
 Comets tickling my toes...

たましん
多摩中央信用金庫

優れたノウハウで西多摩医師会会員の ニーズにお応えいたします。

経理事務に関することなら何でもお気軽にご相談下さい。

- 一人医師医療法人の設立・先生方の関連事業の会社設立
- 新規開業時の銀行提出資料の作成
- 毎月の記帳・給与計算・決算業務の代行・指導
(この業務はNHK教育テレビで紹介された21世紀の経理システム
「キャッシュ・リーダー」で行います)
- 賃貸・譲渡や経営再建に関する相談
- 利益計画の作成、事業承継や財産管理等の資産保全に関する相談

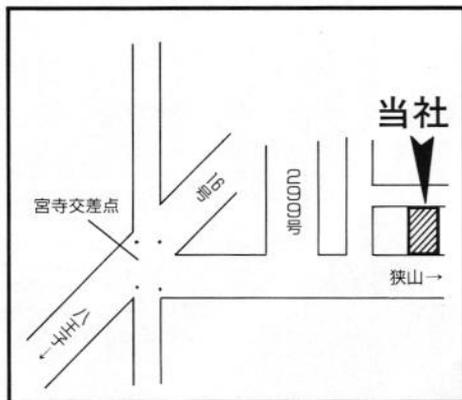
なお、税務相談、申告書の作成等の税務については、日経メディカル「メディクイズ」
を連載執筆中の「小山公認会計士事務所」がサポートいたします。

有限会社 経理処理サービス

本社 東京都田無市本町5-11-14
TEL. 0424(64)8390
FAX. 0424(64)2218

健康と未来をみつめて!!

医療機関における各種検査、学校、事業所の検診
御利用の際は御連絡下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 0429 (64) 2621

FAX 0429 (64) 6659

自然のめぐみを最先端の技術で活かす——ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目



ツムラは、ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目により、高齢化社会の深まりつつある現実の治療に貢献しつつ、漢方製剤の科学的な実証を通じて、21世紀に至る長寿社会の治療手段としての役割をはたしていきたいと願っております。

 株式会社 **ツムラ**
東京都千代田区二番町12-7 千102

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本社 千240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 千983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-238-8345(大代表)